



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月14日

上場会社名 エステールホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7872 URL <https://www.estelle.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雅史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 横内 達治 TEL 03-6628-8480
 定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 2025年6月13日
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	31,271	△1.3	188	15.4	316	4.0	△345	—
2024年3月期	31,699	7.0	163	53.0	303	△3.5	△979	—

(注) 包括利益 2025年3月期 △170百万円(—%) 2024年3月期 △953百万円(—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	△32.94	—	△2.8	1.0	0.6
2024年3月期	△93.27	—	△7.5	0.9	0.5

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	29,873	12,238	39.9	1,136.80
2024年3月期	32,032	12,629	38.7	1,183.65

(参考) 自己資本 2025年3月期 11,910百万円 2024年3月期 12,401百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	118	△306	△999	5,092
2024年3月期	984	△546	△711	6,263

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00	282	—	2.2
2025年3月期	—	0.00	—	27.00	27.00	282	—	2.3
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	27.00	27.00	282.9	—	—

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,700	1.4	420	122.8	440	39.2	52	—	4.96

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2025年3月期	11,459,223株	2024年3月期	11,459,223株
2025年3月期	981,653株	2024年3月期	981,653株
2025年3月期	10,477,570株	2024年3月期	10,499,378株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	15,232	△5.4	201	△25.9	162	△27.8	△421	—
2024年3月期	16,103	11.7	271	△11.0	225	△21.0	△1,425	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	△40.23	—
2024年3月期	△135.74	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	27,636	9,579	34.7	914.32
2024年3月期	29,442	10,243	34.8	977.69

(参考) 自己資本 2025年3月期 9,579百万円 2024年3月期 10,243百万円

<個別業績の前期実績との差異理由>

昨年度においては、子会社の事業損失引当金の計上及び繰延税金資産の取り崩しがあったため、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いている中、物価高による個人消費の一部弱い動きがみられるなど、また、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇、米国の今後の政策動向による影響、中国における景気の下振れリスク等、依然として先行き不透明な状況が続いております。小売業界におきましては、エネルギー価格や物流コストの高騰、相次ぐ値上げによる物価上昇や実質賃金の減少による節約志向が依然として継続するとともに、採用難による初任給や最低賃金の上昇により人件費が高騰し、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、店頭販売のさらなる拡充の為、購買回復に向けた販売促進を積極的に展開してまいりました。また、社内業務の効率化、平準化に取り組むとともにお客様のニーズに対して、きめ細やかな対応をするため、品質・価格・品ぞろえを中心に店舗政策に取り組み、人材育成を強化することによりお客様満足度向上に努めてまいりました。

当社グループの当連結会計年度の業績は、人員体制の確保が厳しいなか、特に大きな商戦期である冬の商戦期及び春の商戦期において回復の兆しは見えつつも、十分な回復に至らず、売上高は312億71百万円(前年同期比1.3%減)となりました。営業損益は1億88百万円(前年同期比15.4%増)となり、経常損益は3億16百万円の利益(前年同期比4.0%増)となりました。また、特別損失に店舗の減損損失3億22百万円や創業者の役員退職による特別功労金1億50百万円の計上などにより、親会社株主に帰属する当期純損益は3億45百万円の損失(前年同期は9億79百万円の損失)となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりです。

(宝飾品)

外部顧客に向けて、70周年記念キャンペーンなどお客さまとのコミュニケーションを強めていく取り組みや、人材育成の強化を進めてまいりました。しかしながら、採用が厳しい中、人員不足による人員体制の確保が遅れたこともあり、営業体制の構築に厳しい状況が続いたことから、外部顧客への売上高は、258億6百万円(前年同期比2.8%減)となり、営業利益は、2億97百万円(前年同期比28.8%減)となりました。

(眼鏡)

当セグメントでは、国内小売事業では、店頭での打ち出し等の見直しや人材育成などの強化を進めたことにより、また、海外子会社での卸売事業が伸びたことにより、外部顧客への売上高は、32億24百万円(前年同期比13.4%増)となり、営業利益は、新規出店に伴う販売管理費等の増加もあり、2億5百万円(前年同期比110.3%増)となりました。

(食品販売・飲食店)

当セグメントにおいては、よりオリジナリティのある商品開発に取り組むなど、マーケットの変化に対応すべく施策を進めてまいりました。第3四半期より商品力を高め、営業体制の強化のため組織体制の見直しを行ってまいりましたが、売上高は、22億39百万円(前年同期比2.7%減)となり、営業損益は、3億18百万円の損失(前年同期は3億53百万円の損失)となりました。

なお、当期における当社グループの主な店舗展開は以下のとおりです。

事業セグメント	宝飾品	眼鏡	食品販売・飲食店
会社名	As-meエステール(株)	キンバレー(株)	エステールホールディングス(株)
前期末店舗数	349	68	35
新規出店	3	4	-
閉店	△16	△2	△2
当期末店舗数	336	70	33

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末の320億32百万円より21億58百万円減少し、298億73百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の減少13億1百万円、商品及び製品などの棚卸資産の減少3億45百万円、受取手形及び売掛金の減少2億63百万円、有形固定資産の減少1億97百万円及び敷金及び保証金の減少1億9百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末の194億2百万円より17億67百万円減少し、176億34百万円となりました。主な増減は、電子記録債務の増加24億70百万円と、支払手形及び買掛金の減少25億17百万円、長期借入金の減少5億83百万円、役員退職慰労引当金の減少5億円、その他流動負債の減少2億54百万円、1年以内返済予定の長期借入金の減少1億96百万円及び退職給付に係る負債の減少1億20百万円です。

純資産合計は、前連結会計年度末の126億29百万円より3億91百万円減少し、122億38百万円となりました。主な増減は、親会社株主に帰属する当期純損失3億45百万円と剰余金配当の支払2億82百万円による利益剰余金の減少6億28百万円です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末の62億63百万円より11億71百万円減少し、50億92百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1億18百万円のプラス（前年同期は9億84百万円のプラス）となりました。これは主に減価償却費3億82百万円、棚卸資産の減少3億45百万円、減損損失3億22百万円及び売上債権の減少2億68百万円の資金増加と、税金等調整前当期純損失1億90百万円及び役員退職慰労引当金の減少5億円の資金減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは3億6百万円のマイナス（前年同期は5億46百万円のマイナス）となりました。これは主に敷金保証金の回収1億38百万円の収入と、固定資産の取得4億62百万円の支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動におけるキャッシュ・フローは9億99百万円のマイナス（前年同期は7億11百万円のマイナス）となりました。これは主に長期借入による収入36億円と、長期借入金の返済による支出43億79百万円及び配当金の支払額2億82百万円の支出によるものです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界的な資源価格の高騰、為替の大きな変動、賃上げに伴う人件費の増加など、価格転嫁による物価の高騰加えて米国の今後の政策動向による景気への影響は依然予断を許さない状況にありますが、景気は緩やかに回復してきております。

次年度の当社グループの通期業績予想につきましては、宝飾事業における販売体制の整備及び商品政策の見直し等により売上の回復が見込まれるため、売上高317億円、損益は営業利益4億20百万円、経常利益4億40百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は52百万円を見込んでおります。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、当社グループの事業の地域性及び当社の株主構成並びに同業他社との比較可能性の観点から日本基準を適用することとしております。

なお、今後につきましては、これら諸条件の推移を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めてゆく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,413	5,112
受取手形及び売掛金	2,547	2,284
商品及び製品	11,367	10,851
仕掛品	1,634	1,508
原材料及び貯蔵品	3,647	3,944
その他	219	222
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	25,830	23,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,960	2,991
減価償却累計額	△1,970	△2,181
建物及び構築物（純額）	989	809
工具、器具及び備品	2,118	2,203
減価償却累計額	△1,741	△1,886
工具、器具及び備品（純額）	377	316
土地	31	31
その他	578	685
減価償却累計額	△377	△441
その他（純額）	201	243
有形固定資産合計	1,598	1,401
無形固定資産	116	127
投資その他の資産		
投資有価証券	168	226
関係会社株式	36	36
繰延税金資産	615	581
敷金及び保証金	2,327	2,218
賃貸土地	53	53
その他	1,287	1,308
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	4,487	4,423
固定資産合計	6,202	5,952
資産合計	32,032	29,873

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,728	1,211
電子記録債務	-	2,470
1年内返済予定の長期借入金	3,896	3,700
未払金	1,111	1,049
未払法人税等	102	88
賞与引当金	404	400
その他	1,421	1,166
流動負債合計	10,664	10,087
固定負債		
長期借入金	6,486	5,902
役員退職慰労引当金	743	243
退職給付に係る負債	1,400	1,280
資産除去債務	104	119
その他	3	1
固定負債合計	8,738	7,547
負債合計	19,402	17,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,367
利益剰余金	7,917	7,289
自己株式	△662	△662
株主資本合計	12,210	11,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	74
為替換算調整勘定	154	236
退職給付に係る調整累計額	2	33
その他の包括利益累計額合計	191	344
非支配株主持分	228	327
純資産合計	12,629	12,238
負債純資産合計	32,032	29,873

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	31,699	31,271
売上原価	14,111	13,740
売上総利益	17,588	17,531
販売費及び一般管理費	17,424	17,342
営業利益	163	188
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	3	2
不動産賃貸料	3	3
受取手数料	29	28
為替差益	145	150
その他	11	9
営業外収益合計	201	203
営業外費用		
支払利息	47	59
その他	13	16
営業外費用合計	61	76
経常利益	303	316
特別利益		
投資有価証券売却益	43	-
受取補償金	0	1
助成金収入	0	1
特別利益合計	44	3
特別損失		
減損損失	276	322
店舗閉鎖損失	-	0
助成金返還損	-	36
特別功労金	-	150
特別損失合計	276	509
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	72	△190
法人税、住民税及び事業税	136	131
法人税等調整額	912	2
法人税等合計	1,048	133
当期純損失(△)	△976	△324
非支配株主に帰属する当期純利益	2	21
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△979	△345

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純損失(△)	△976	△324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	40
為替換算調整勘定	43	81
退職給付に係る調整額	7	31
その他の包括利益合計	23	153
包括利益	△953	△170
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△955	△191
非支配株主に係る包括利益	2	21

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,571	3,384	9,183	△570	13,569
当期変動額					
剰余金の配当			△286		△286
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△979		△979
自己株式の取得				△92	△92
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△1,266	△92	△1,358
当期末残高	1,571	3,384	7,917	△662	12,210

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	61	111	△5	167	217	13,953
当期変動額						
剰余金の配当						△286
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)						△979
自己株式の取得						△92
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△27	43	7	23	10	34
当期変動額合計	△27	43	7	23	10	△1,324
当期末残高	34	154	2	191	228	12,629

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,571	3,384	7,917	△662	12,210
当期変動額					
剰余金の配当			△282		△282
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△345		△345
連結子会社株式の取得 による持分の増減		△16			△16
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△16	△628	-	△644
当期末残高	1,571	3,367	7,289	△662	11,566

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	34	154	2	191	228	12,629
当期変動額						
剰余金の配当						△282
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)						△345
連結子会社株式の取得 による持分の増減						△16
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	40	81	31	153	99	253
当期変動額合計	40	81	31	153	99	△391
当期末残高	74	236	33	344	327	12,238

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	72	△190
減価償却費	422	382
減損損失	276	322
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△38	△74
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	25	△500
賞与引当金の増減額(△は減少)	6	△4
受取利息及び受取配当金	△11	△10
支払利息	47	59
助成金収入	△0	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△389	268
棚卸資産の増減額(△は増加)	635	345
仕入債務の増減額(△は減少)	△238	△38
投資有価証券売却損益(△は益)	△43	-
受取補償金	-	△1
特別功労金	-	150
助成金返還損	-	36
未払金の増減額(△は減少)	77	△56
未払又は未収消費税等の増減額	183	22
その他	133	△263
小計	1,160	446
利息及び配当金の受取額	9	14
利息の支払額	△48	△59
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△137	△99
補償金の受取額	-	1
助成金の受取額	0	1
助成金の返還額	-	△36
特別功労金の支払額	-	△150
営業活動によるキャッシュ・フロー	984	118

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	50	-
定期預金の預入による支出	△150	△261
定期預金の払戻による収入	126	400
固定資産の取得による支出	△582	△462
敷金及び保証金の差入による支出	△63	△13
敷金及び保証金の回収による収入	196	138
保険積立金の積立による支出	△21	△21
貸付けによる支出	-	△5
貸付金の回収による収入	30	-
その他	△131	△81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△546	△306
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,260	3,600
長期借入金の返済による支出	△4,592	△4,379
自己株式の取得による支出	△92	-
配当金の支払額	△286	△282
非支配株主からの払込みによる収入	-	62
財務活動によるキャッシュ・フロー	△711	△999
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△264	△1,171
現金及び現金同等物の期首残高	6,528	6,263
現金及び現金同等物の期末残高	6,263	5,092

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に宝飾品の製造販売、眼鏡の製造販売及び食品販売・飲食店事業を営んでおります。したがって、当社は「宝飾品」、「眼鏡」及び「食品販売・飲食店事業」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	宝飾品	眼鏡	食品販売・ 飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	26,554	2,843	2,301	31,699	—	31,699
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	26,554	2,843	2,301	31,699	—	31,699
セグメント利益又は損失(△)	417	97	△353	161	1	163
セグメント資産	29,787	1,796	705	32,289	△257	32,032
セグメント負債	18,678	443	330	19,453	△50	19,402
その他の項目						
減価償却費	282	106	33	422	—	422
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	346	133	99	580	—	580

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であり、セグメント資産の調整額△257百万円及びセグメント負債の調整額△50百万円は、セグメント間債権債務消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	宝飾品	眼鏡	食品販売・ 飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	25,806	3,224	2,239	31,271	—	31,271
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,806	3,224	2,239	31,271	—	31,271
セグメント利益又は損失(△)	297	205	△318	184	3	188
セグメント資産	27,391	2,296	673	30,361	△487	29,873
セグメント負債	16,923	465	246	17,635	△0	17,634
その他の項目						
減価償却費	239	109	33	382	—	382
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	341	123	22	488	—	488

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額3百万円は、セグメント間取引消去であり、セグメント資産の調整額△487百万円及びセグメント負債の調整額△0百万円は、セグメント間債権債務消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

(1株当たり情報)

区分	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	1,183円65銭	1,136円80銭
1株当たり当期純損失金額(△)	△93円27銭	△32円94銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失額であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	12,629	12,238
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	228	327
(うち非支配株主持分(百万円))	(228)	(327)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	12,401	11,910
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(千株)	10,477	10,477

3. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(百万円)	△979	△345
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(百万円)	△979	△345
期中平均株式数(千株)	10,499	10,477

(重要な後発事象)

該当事項はありません。